



さいたま市の財政状況



さいたま市

平成25年10月

さいたま市財政局財政部財政課



さいたま市 PR キャラクター



目 次

1	さいたま市のプロフィール	
(1)	概要	2
(2)	人口分布	3
2	さいたま市の主な取組み	
(1)	公共施設マネジメントの推進	4
(2)	既成市街地の再生と都市機能の集積・再配置	5
(3)	企業誘致活動の推進	6
(4)	さいたまスポーツコミッション	7
3	さいたま市の財政状況	
(1)	平成24年度一般会計決算の概況	8
(2)	一般会計歳入決算状況	9
(3)	一般会計歳出決算状況	10
(4)	各種財政指標の比較	11
(5)	基金現在高	12
4	将来の財政運営を見据えた市債の借入	
(1)	市債の借入の考え方、(2) 資金区分別市債借入額の推移(一般会計)	13
(3)	プライマリーバランス、市債残高の推移(一般会計)	14
(4)	市場公募地方債の発行	15
(5)	平成25年度さいたま市シンジケート団シェア	16

1 さいたま市のプロフィール



(1) 概要

◆人口125万人を擁するさいたま市は、東北・上信越地方など広大なマーケットを後背に持ち、優れた交通インフラにより首都圏と東日本の交流拠点となる都市

★新幹線5路線をはじめ、JR各線や私鉄が結節する交通の要衝。

★湘南新宿ラインの浦和駅停車や東北縦貫線の整備により東京駅以南への直通運転を予定。

◆変遷

- ・平成13年5月 浦和・大宮・与野の3市合併により「さいたま市」誕生
- ・平成15年4月 政令指定都市へ移行（全国で13番目）
- ・平成17年4月 岩槻市と合併
- ・平成23年 市制施行10周年
- ・平成25年 政令指定都市移行10周年

（平成25年10月1日現在）

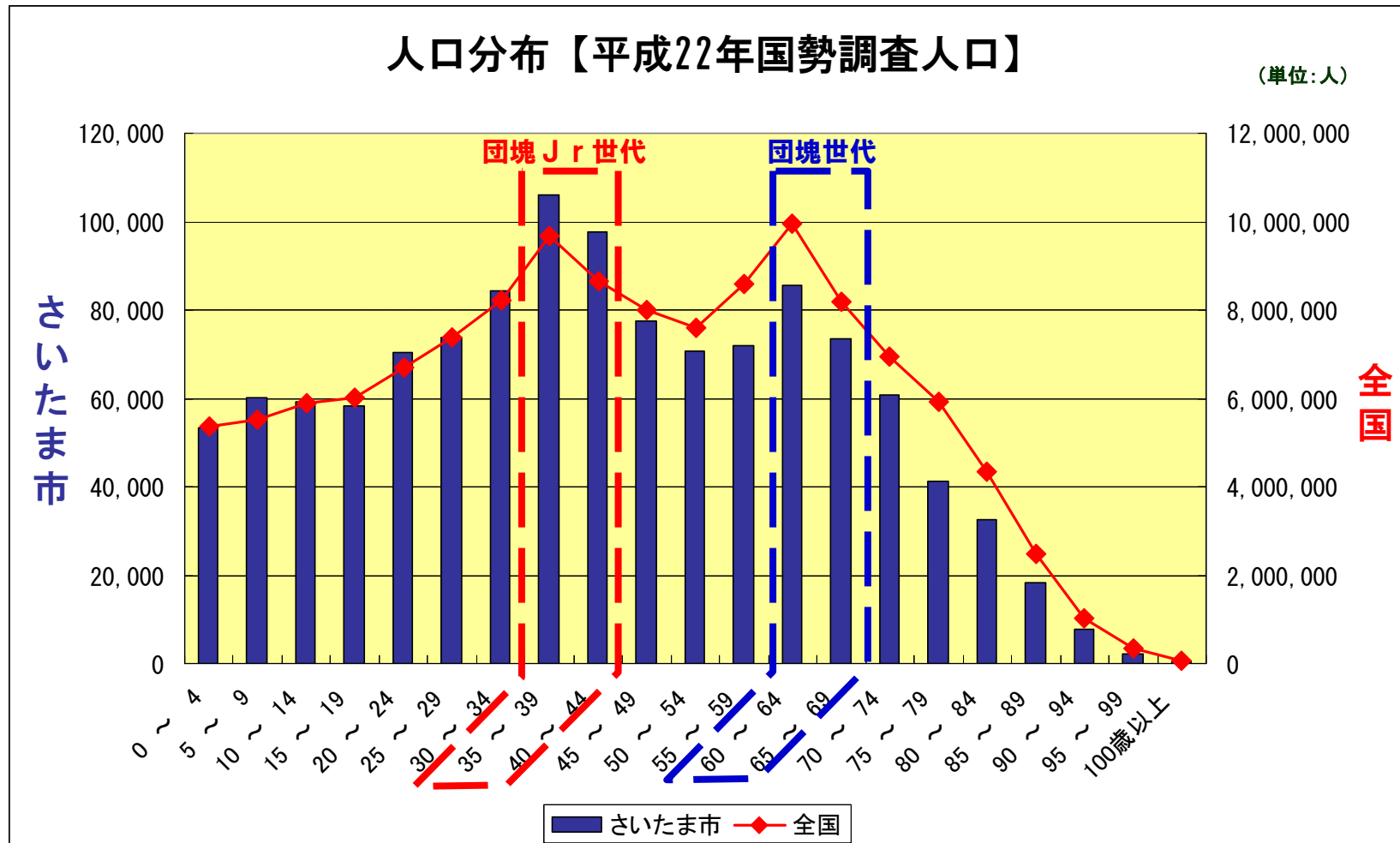
面積	217.49km ²
総人口	1,251,799人
世帯数	541,791世帯
人口密度	5,755.7人/km ²
平均年齢	42.83歳
人口増加率	4.0%

※人口増加率は、平成17年と平成22年国勢調査から算出





(2) 人口分布



2 さいたま市の主な取組み

(1) 公共施設マネジメントの推進

■ 平成24年6月制定『さいたま市公共施設マネジメント計画』

<目的>

- ・市民が安心・安全で持続的に施設を利用できるよう計画的な投資

<計画期間>

- ・平成24年度から平成62年度までの39年間

<施設整備の考え方>

- ①長寿命化・アセットマネジメント ②事前協議 ③複合化
- ④PPPの推進 ⑤防災対策の推進 ⑥機能転換を織り込む

さいたま市公共施設マネジメント計画では、インフラ（都市関連施設、企業会計施設）については、都市計画道路や公共下水道の整備にも見られるように本市の整備水準が他市と比較して高いことも踏まえ、一定の新規整備を継続することとしているため、ハコモノ（市民利用施設、行政施設）と大別して、全体目標を設定しています。

例えは、学校の建設時に近くの公民館を一体的に整備するなど、施設を連携させるときに、周りの施設を一緒にするのが「複合化」です。

複合化のイメージ



【複合化のメリット】

- ✓ 量の圧縮
- ✓ 多機能によるサービス向上
- ✓ 利用者間の交流の向上
- ✓ 防災機能の強化

【複合化のデメリット】

- ✓ 施設まで遠くなる地域がでてくる
- ✓ 市全体では施設数が増える

テーマ④のポイント

「第4のシナリオ」は、「全体目標」を守ること、なるべく我慢しながらできるだけ工夫して乗り切るシナリオ

⇒「第4のシナリオ」は、施設の有効活用・施設の複合化がキーワード

「第4のシナリオ」これが、『公共施設マネジメント計画』というもののなんです！

「3つのシナリオ」はいやだな。「第4のシナリオ」はどんなものなの

「さいたま方式の公共施設マネジメント計画」

全体目標	
【ハコモノ三原則】	
■新しい施設は原則としてつくりません	(今持っている施設を有効活用する)
■今持っている施設を建替える場合には複数の施設を同じ敷地にまとめてつくり直す【複合化】	
■今持っている施設の量(床面積)を今後40年間で15%程度減らす	
【インフラ三原則】	
■今持っているインフラの改修・更新経費(一般財源)を維持する	
■ライフサイクルコスト(施設の生涯に必要な総費用)を減らす	
■効率的に新たな市民のニーズに対応する	

✓ 具体的な取組の第一歩として、「全体目標」をたてました。【ハコモノ三原則】【インフラ三原則】に分けて具体的な行動と数値目標を明示しています。

どのように対応するか ④



さいたま市 公共施設 マネジメント計画

～「これからの100年」を見据えた公共施設の再構成 安心・安全で持続的な施設サービスの充実に向けて～

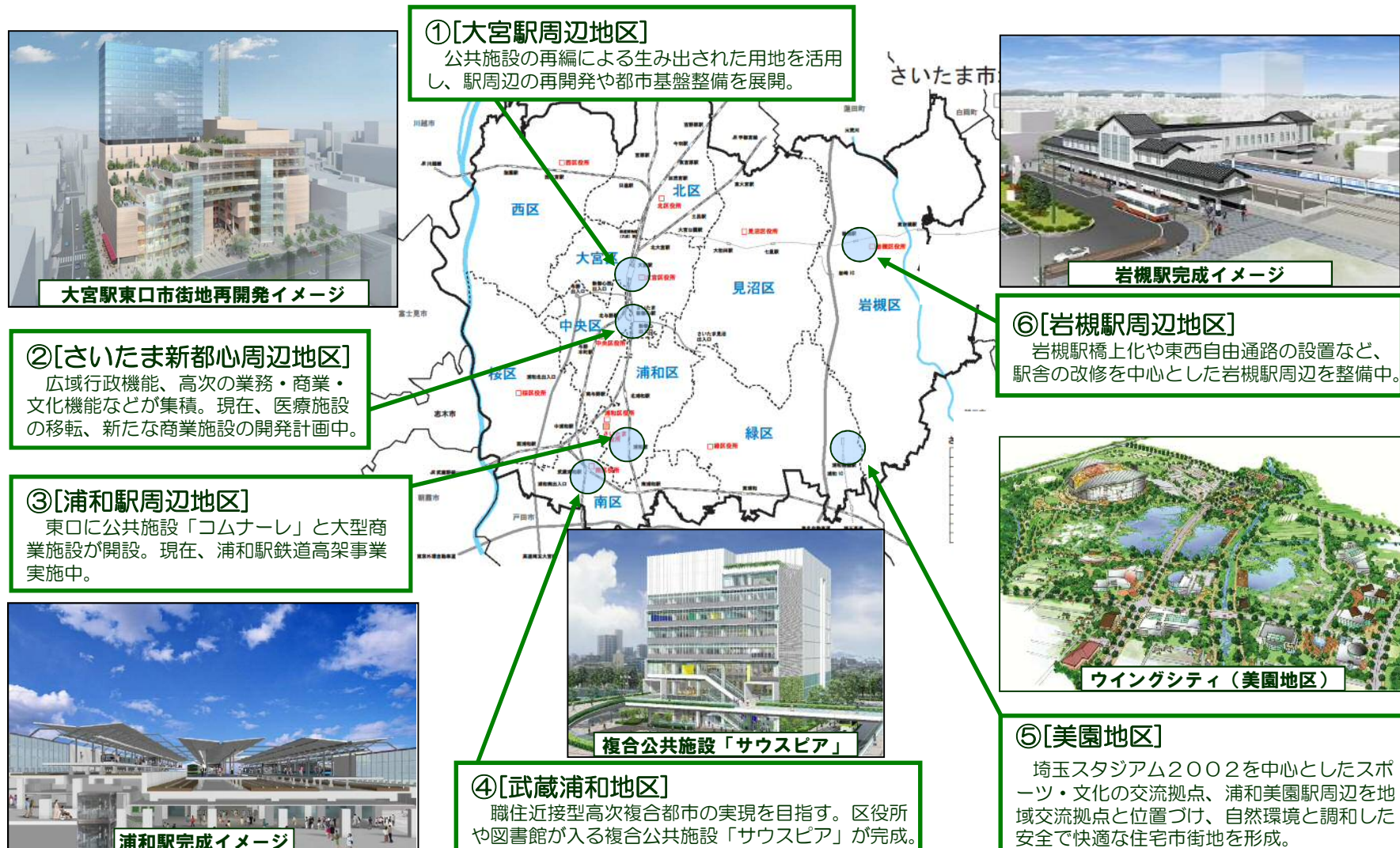
家族会議だ!!

家族会議で決めた!!

「第4のシナリオ」は、施設の有効活用・施設の複合化がキーワード

(2) 既成市街地の再生と都市機能の集積・再配置

◆交通利便性を活かしながら魅力ある都市空間づくりを進めています。



(3) 企業誘致活動の推進

◆さいたま市の優位性を活かした企業誘致活動の推進

“財政基盤の強化” “雇用の創出” “地域経済の活性化”

<優 位 性>

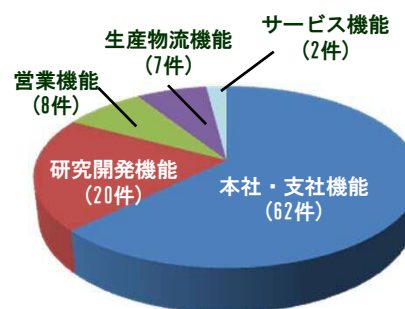
- ・首都圏の中心部に位置
- ・利便性の高い交通インフラ
- ・大宮台地等災害に強い地盤
- ・技術力の高いものづくり企業の集積
- ・省庁等国の機関の集積 など

- 特徴: ①本社・研究開発型機能の集積を重視
 ②市内企業にも対応する補助制度(最大10億円)
 ③立地後のビジネス支援重視
 (認証支援制度、ビジネスマッチング支援etc.)

◆さいたま市の企業誘致実績

平成17～24年度までの
8年間で99社を誘致

経済波及効果：約2,030億円
 (さいたま市試算)



さいたま市企業誘致活動方針
 『まもり、まねいて、そだてます』



(4) さいたまスポーツコミッション



◆目的 スポーツを通じて新たな観光客の拡大を図り、さいたま市の地域経済を活性化する。

◆役割

スポーツ大会誘致のプロモーター

スポーツ大会受入のコーディネーター

概念図



さいたまクリテリウム
by ツール・ド・フランス



全日本バレーボール高等学校選手権



FIFA U-20 女子ワールドカップ

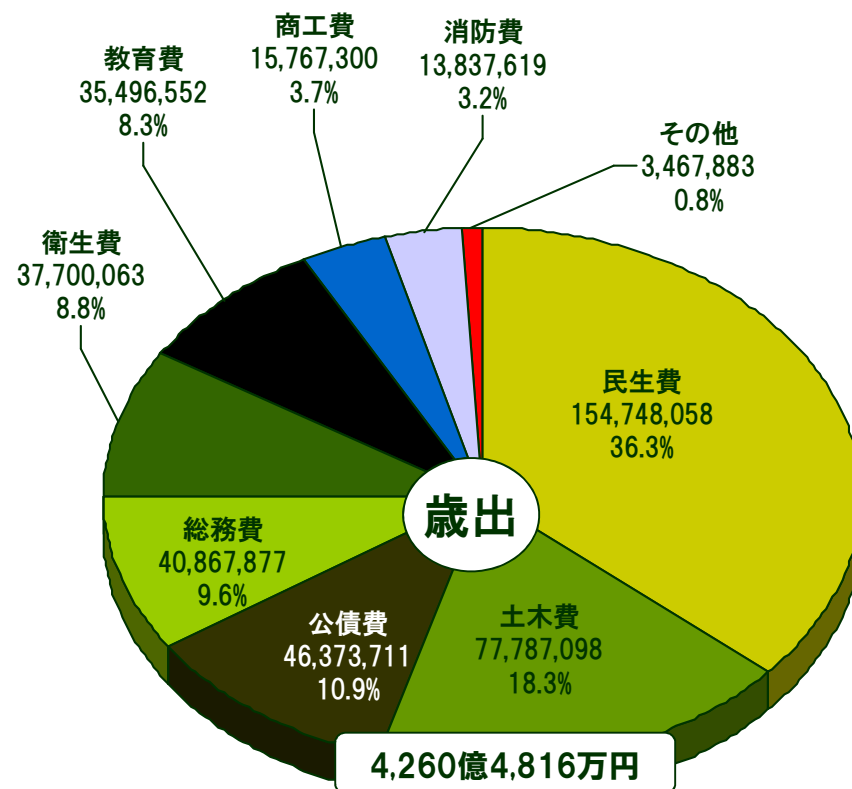
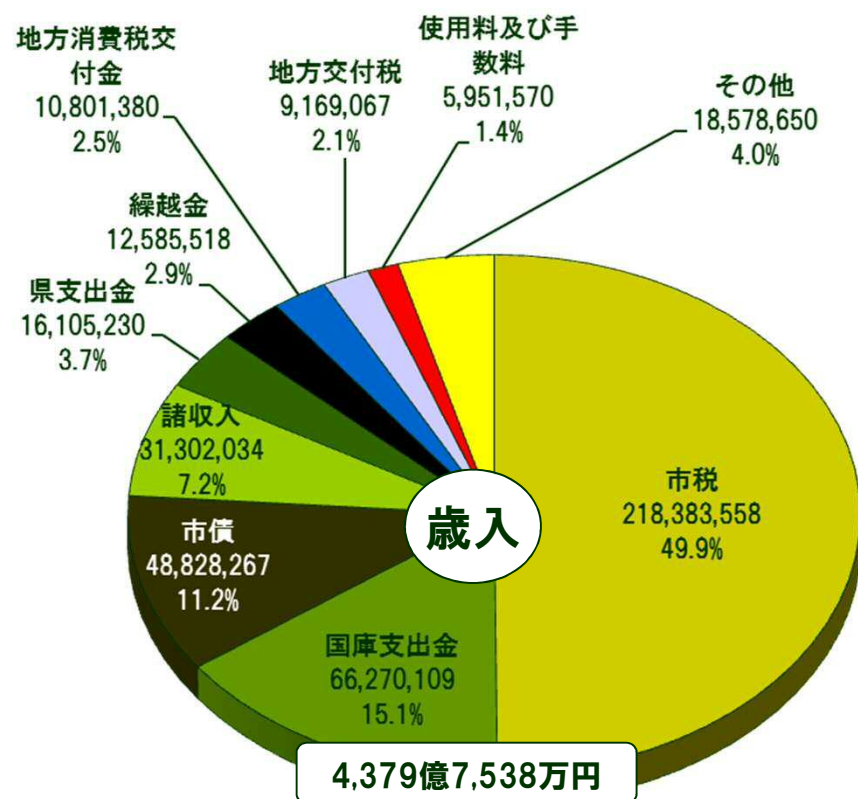
3 さいたま市の財政状況

(1) 平成24年度一般会計決算の概況

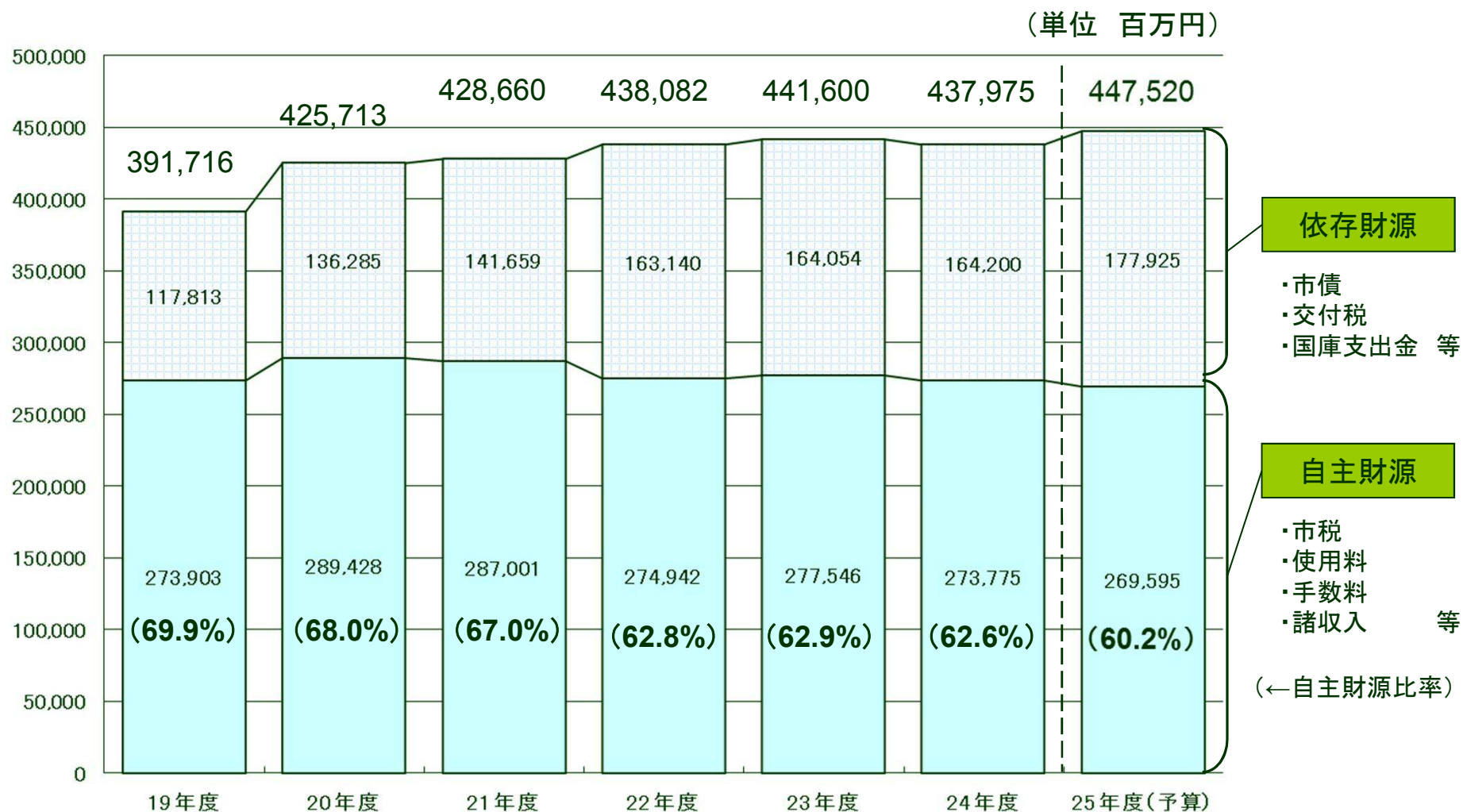


◆実質収支は12年連続黒字を達成（44億8,900万円）

一般会計決算の内訳（単位:千円）



(2) 一般会計歳入決算状況



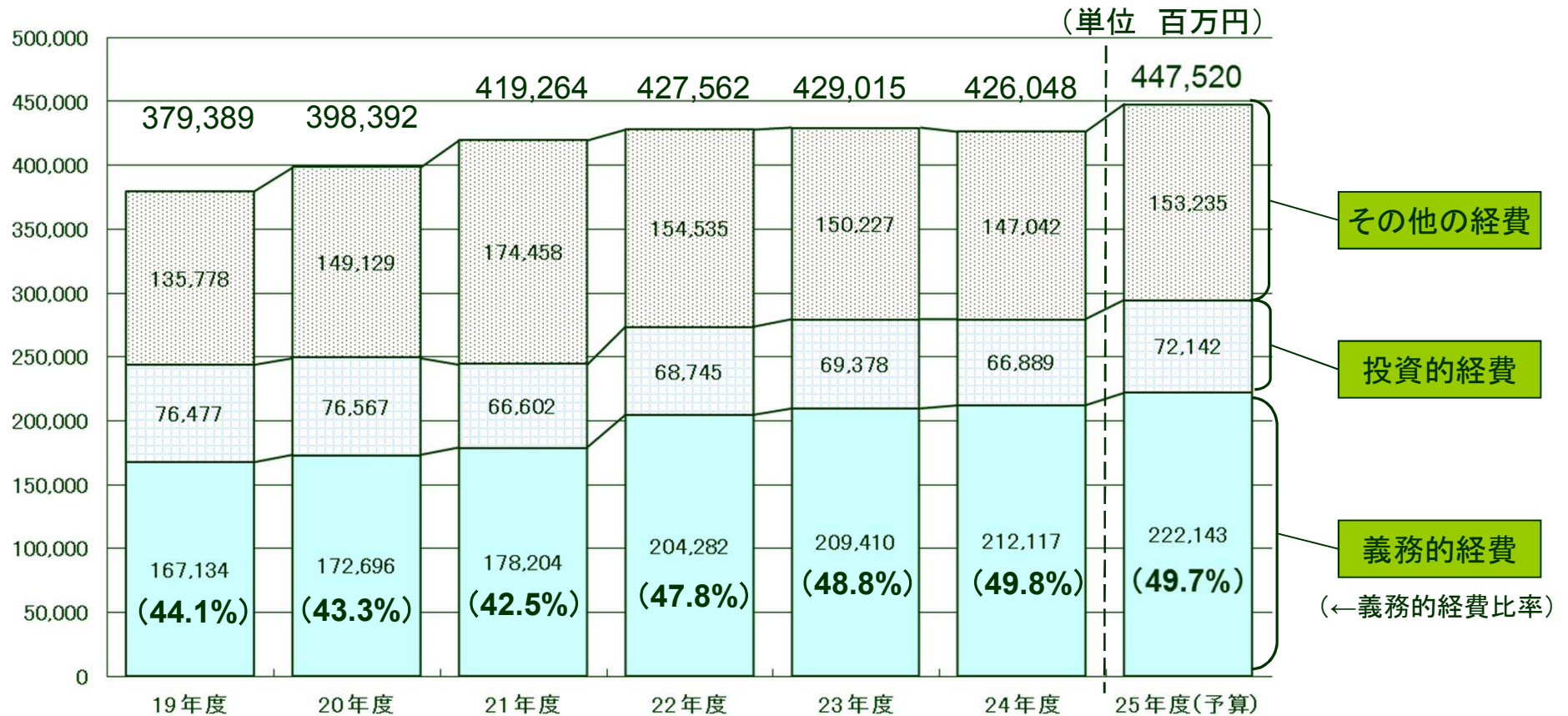


(3) 一般会計歳出決算状況

義務的経費の内訳

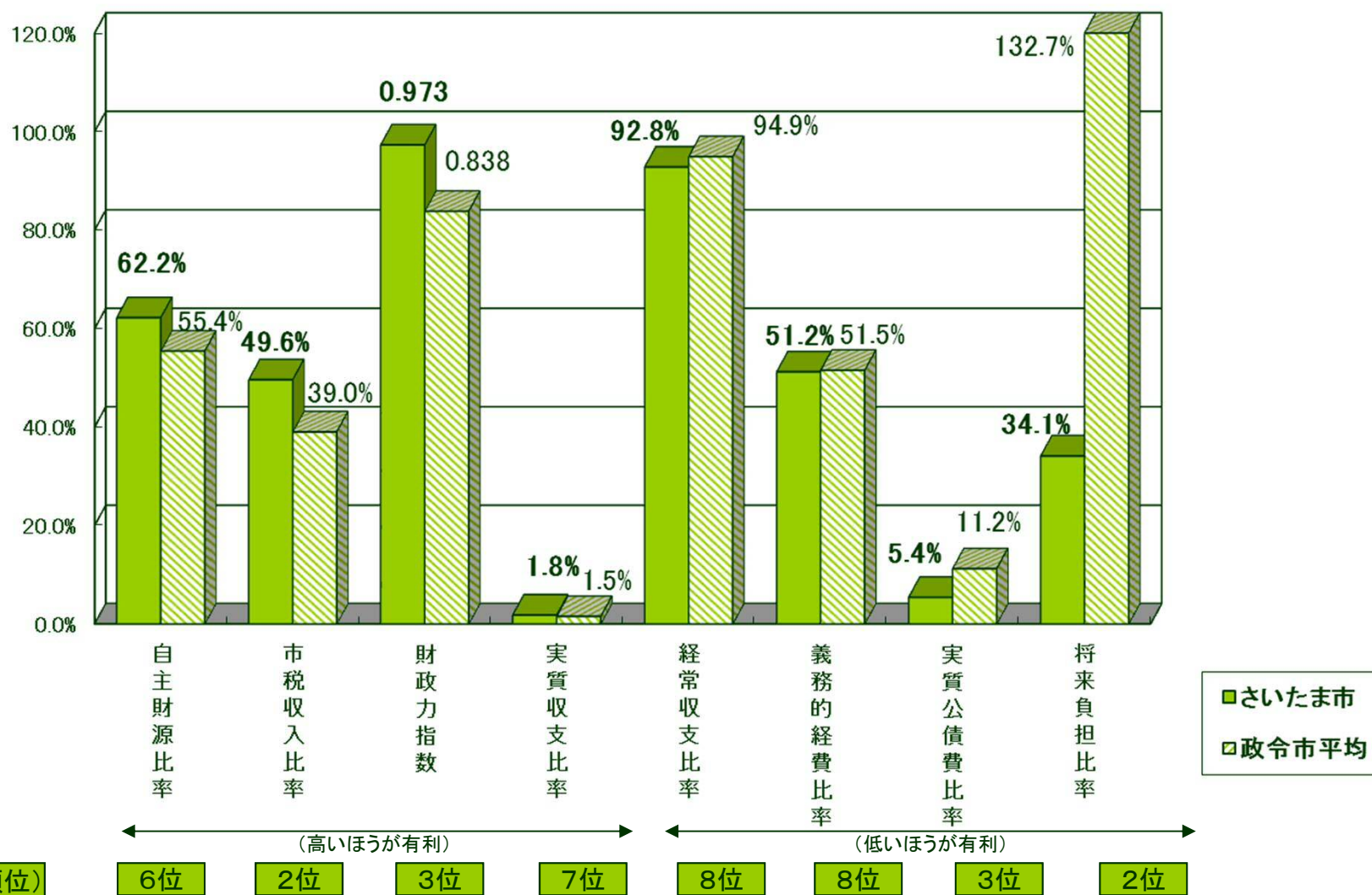
単位: 百万円

	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度 (予算)
人件費	77,403	75,962	75,442	75,783	73,779	73,603	74,695
扶助費	54,163	56,684	64,136	88,072	95,384	97,688	99,762
公債費	35,568	40,050	38,626	40,427	40,247	40,826	47,686
合計	167,134	172,696	178,204	204,282	209,410	212,117	222,143



(4) 各種財政指標の比較

平成24年度普通会計決算

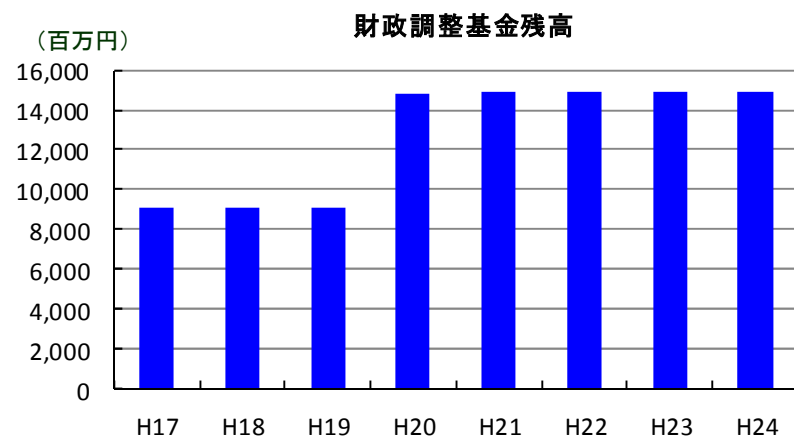




(5) 基金現在高

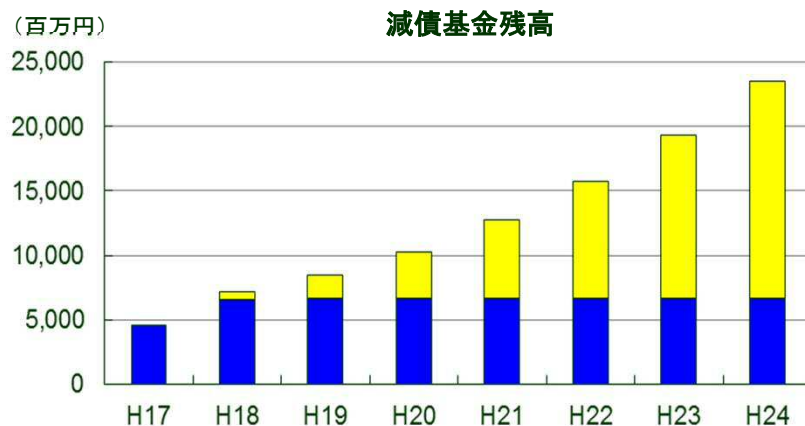
① 財政調整基金

◆ 経済情勢の変動による財源不足や災害発生など緊急に支出が必要な場合に備え、積立てしています。



② 減債基金

◆ 市場公募債等の将来の償還に備えて積立てを行い、償還財源を確保しています。



■ 減債基金(満期一括分)
■ 減債基金(通常目的分)

4 将来の財政運営を見据えた市債の借入

(1) 市債の借入の考え方

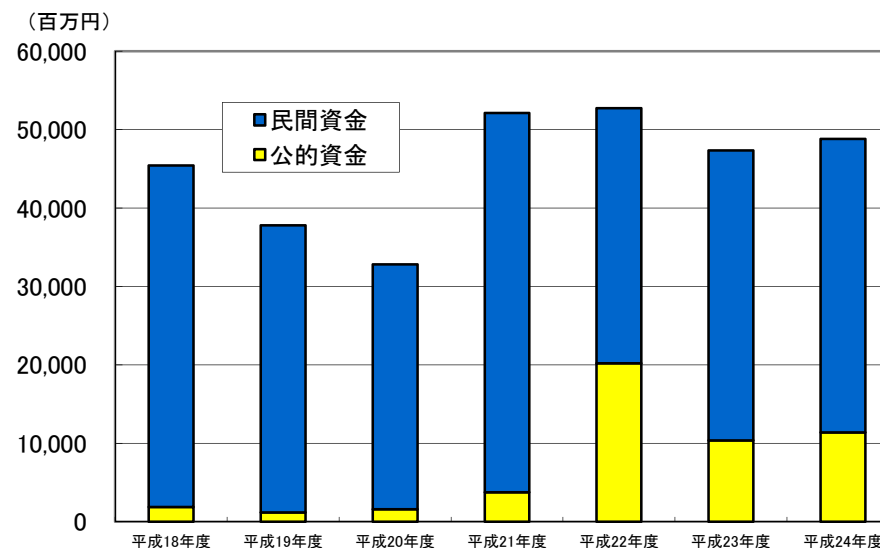
- ①市債の借入により、財政負担の平準化や世代間の負担の公平化を図っています。
- ②健全な財政を将来にわたって維持するため、市債発行の抑制に努めています。

(2) 資金区分別市債借入額の推移(一般会計)

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
公的資金	1,854	1,190	1,601	3,731	20,216	10,368	11,366
民間資金	43,566	36,595	31,199	48,388	32,534	36,968	37,463
合 計	45,420	37,785	32,800	52,119	52,750	47,336	48,829

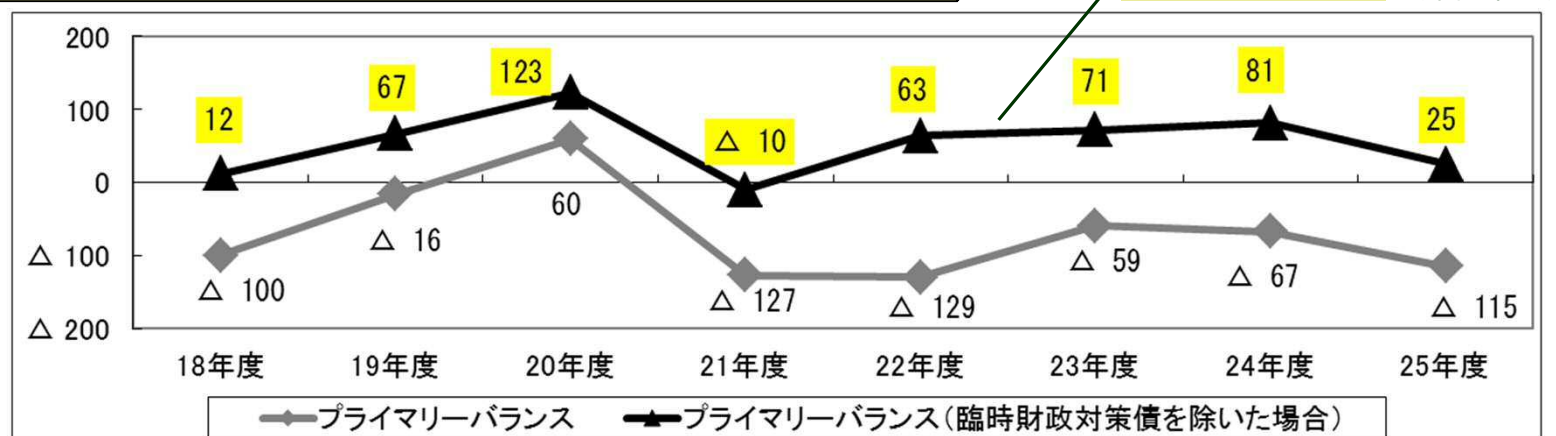
※借換債を除く

※国の予算等貸付を除く



(3)プライマリーバランス、市債残高の推移(一般会計)

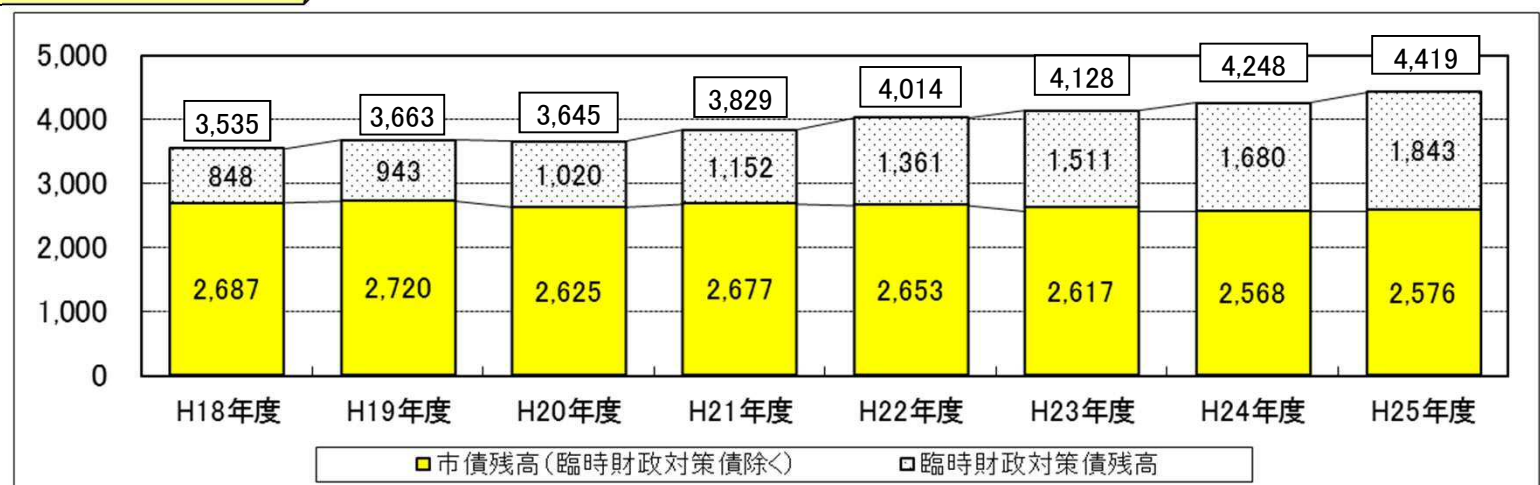
プライマリーバランス(公債費－市債発行総額)の状況



※借換分を除く。※25年度は当初予算額。

市債残高の急増を抑えるため、公債費(元金+利子)－市債発行額の黒字を維持

市債残高の推移



※借換分を除く。※25年度は見込み額。

(4) 市場公募地方債の発行

さいたま市では、資金調達の多様化を図り、安定した資金調達を行っていくために、平成15年度より、市場公募地方債（満期一括償還）を年1回、100億円発行しております。

条件交渉方式は、平成17年度までは総務省による統一条件交渉方式でしたが、平成18年度途中（9月）より各地方公共団体による個別条件交渉方式に移行しております。

【市場公募地方債発行実績】

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
発行額	100億円	100億円	100億円	100億円	100億円
条件決定日	H20. 12. 5	H21. 12. 4	H22. 12. 7	H23. 12. 7	H24. 12. 7
発行日	H20. 12. 25	H21. 12. 25	H22. 12. 24	H23. 12. 22	H24. 12. 21
償還日	H30. 12. 25	H31. 12. 25	H32. 12. 24	H33. 12. 22	H34. 12. 21
表面利率	1.56%	1.34%	1.21%	1.06%	0.70%
発行価格	99円99銭	99円98銭	99円93銭	99円93銭	99円95銭
応募者利回り	1.717%	1.561%	1.342%	1.070%	0.705%

(5) 平成25年度さいたま市シンジケート団シェア

① 銀行

名 称	シェア(%)	備考
埼玉りそな銀行	19%	代表受託兼幹事
みずほ銀行	12%	副受託兼幹事
武蔵野銀行	5%	
埼玉縣信用金庫	2%	
さいたま農業協同組合	1%	
栃木銀行	1%	
小 計	40%	

② 証券

名 称	シェア(%)	備考
みずほ証券	12%	幹事
大和証券	11%	
SMBC日興証券	7%	
野村証券	7%	
三菱UFJ・MS証券	7%	
しんきん証券	6%	
ゴールドマン・サックス証券	5%	
岡三証券	5%	
小 計	60%	



さいたま市

みんなが、のびのび、暮らせるまち。
未来に向かって、伸びて伸びて、いくまち。
豊かな自然、安心して住める環境とともに、発展、進化していく、
さいたま市の姿が<のびのび>のひと言に込められています。

【連絡先】

さいたま市財政局財政部財政課 財源係

住所 〒330-9588 さいたま市浦和区常盤6-4-4

電話 048-829-1155

FAX 048-829-1997

E-mail zaisei@city.saitama.lg.jp